

年々拡大する自然災害。いざという時、助け・助けられることから始まる「役割」や「連携」について考えてみませんか？ 午前は地域での災害時の医療対策の現状を学び、午後はゲーム形式で避難所運営をリアルに模擬体験します。避難者対応のヒントが詰まった参加型セミナーです。

一般の方から医療・介護関係者まで、皆さまのご参加をお待ちしております！



スケジュール

9時30分	受付開始
9時55分～	開会の挨拶 事業担当責任者 仁科祐子
10時00分～	【講演・報告・説明】 ・長見 崇亮 氏 鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課にて災害・救急医療担当。県内の災害医療体制施策を主に、地域の医療体制の充実を図り災害救急医療や救急医療体制の充実などを担当。「県の災害・医療対策と現状」をご講演いただく。 ・中野 真幸子氏 倉吉保健所の医薬・感染症対策課にて、難病の在宅療養者への保健支援等を行っている。事例を介して難病の在宅療養者への災害対策支援をご報告いただく。 ・山下 弘彦 氏 2000年に民間のボランティア団体「日野ボランティア・ネットワーク」を立ち上げ、2010年防災まちづくり大賞では総務大臣賞を受賞。日野町だけでなく県内外の地域活動、地域福祉活動、防減災活動の取り組み支援を行っている。全国各地の被災支援を行っている。演題は「避難行動と避難生活」をご講演いただく。
12時～13時	＝＝＝昼休憩＝＝＝ ※昼食は各自ご持参ください
13時～	【ワークショップ】 避難所運営ゲーム（HUG）をやってみよう 司会進行：日野ボランティア・ネットワーク 山下弘彦氏
15時25分～	総括 （山下氏） 閉会・記念写真撮影

会場と駐車場



・会場へは医学部正門に入り、「医学部アレスコ棟」玄関に入り、お進みください。

・アレスコ棟側駐車場は、医学部正門に入って駐車場のゲートを通ってください。建物（アレスコ棟）の周囲にもあります。

・駐車券は、**受付までお持ちください**。無料手続きをいたします。

お問い合わせ

〒683-8504 米子市西町36-1

鳥取大学医学部附属医院 在宅医療推進支援室（T-HOC）

TEL:0859-38-6994 E-mail: t-hoc@med.tottori-u.ac.jp